

記者発表

(独)日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所 JRR - 4 手動停止について (速報)

平成19年6月13日
生活環境部原子力安全対策課

1 発生日時

平成19年6月13日(水) 11時17分

2 発生場所

独立行政法人日本原子力研究開発機構
東海研究開発センター原子力科学研究所 JRR - 4

3 状況

- (1) JRR - 4は定格出力(3,500kW)にて運転中のところ、本日11時17分頃、微調整用の制御棒の動作不良が確認されたため、原子炉手動停止操作を行い、11時29分原子炉が停止した。
- (2) 放射性物質の漏えい ; なし
- (3) 環境への影響 ; なし
- (4) 人の汚染・被ばく ; なし
- (5) 原因 ; 調査中

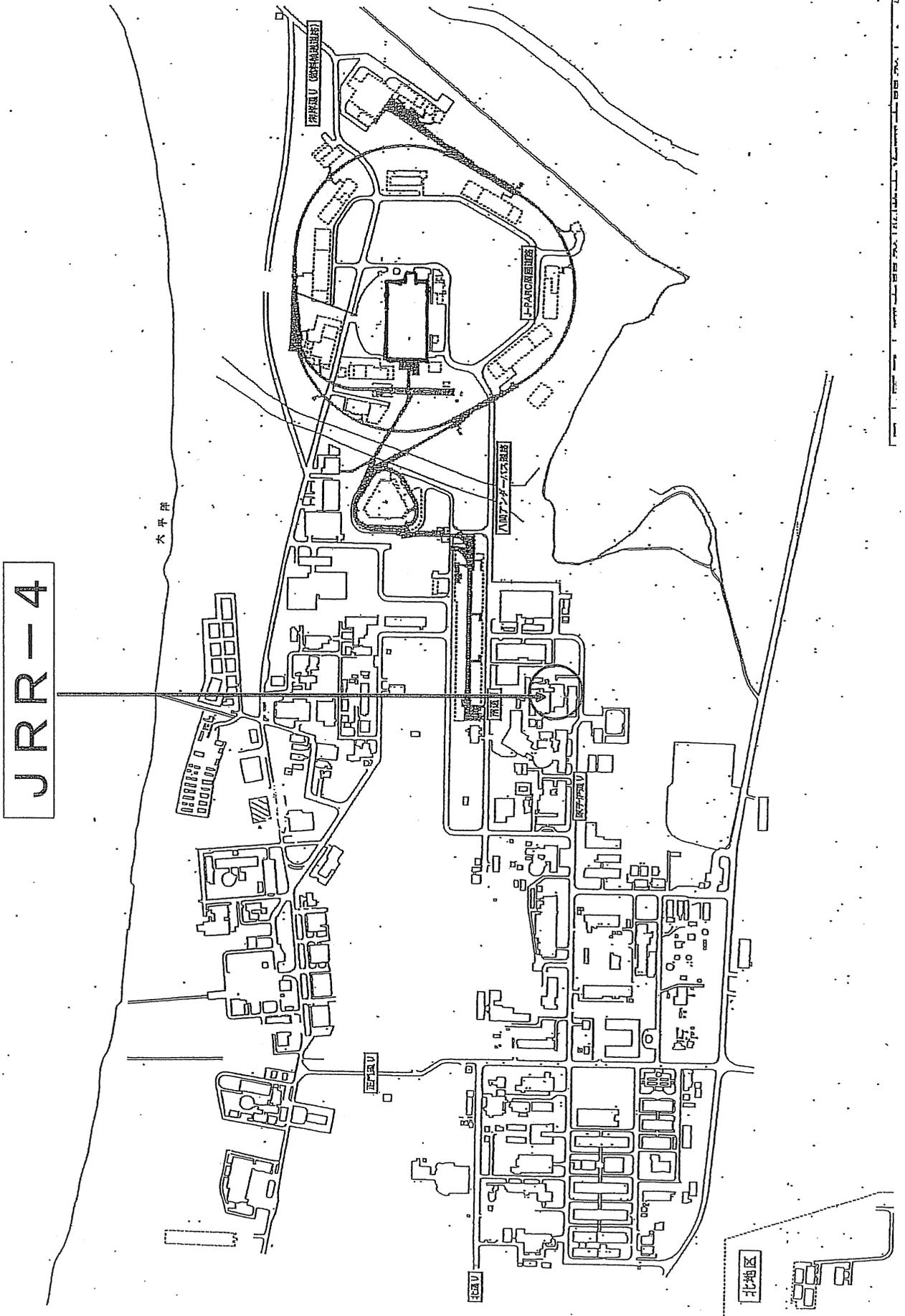
別添 【資料1】日本原子力研究開発機構東海研究開発センター原子力科学研究所配置図
【資料2】JRR - 4の概要

本件については、後刻、(独)日本原子力研究開発機構により記者発表が行われる予定

本件につきましては、原子力安全協定上の「事故・故障」に該当する可能性があることから公表したところですが、原因等を調査した結果、原子力安全協定に定める「事故・故障」には該当しないと判断いたしました。

なお、文部科学省におきましても、原子炉等規制法に定める「事故・故障」には該当しないと判断しております。(6月14日)

[資料1] 日本原子力研究開発機構東海研究開発センター
原子力科学研究所配置図



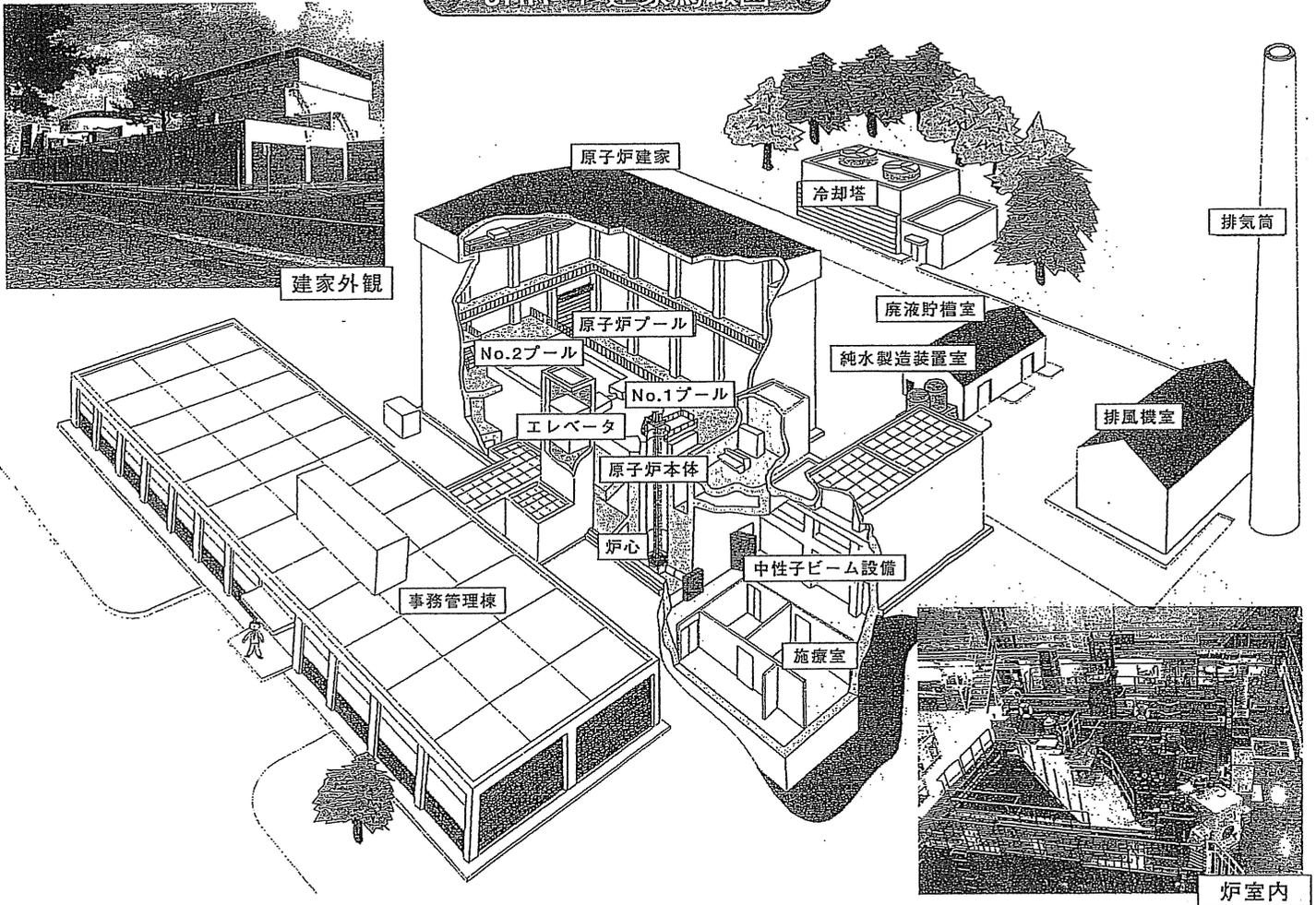
[資料2] JRR-4の概要

JRR-4

Japan Research
Reactor No.4

JRR-4は、軽水を減速材、冷却材に使用したスイミングプールタイプの原子炉です。炉心は、プール内の炉心タンクと呼ばれる容器の底部に設置されています。最大熱出力は3500kWですが、利用者の希望により、出力、運転時間、パターンを変更することができます。当初の目的は、原子力船「むつ」のための実験を行うことでしたが現在は、医療照射 (BNCT)、放射化分析、半導体用シリコンの製造、原子力技術者の養成等、様々の分野の研究者、技術者に利用されています。

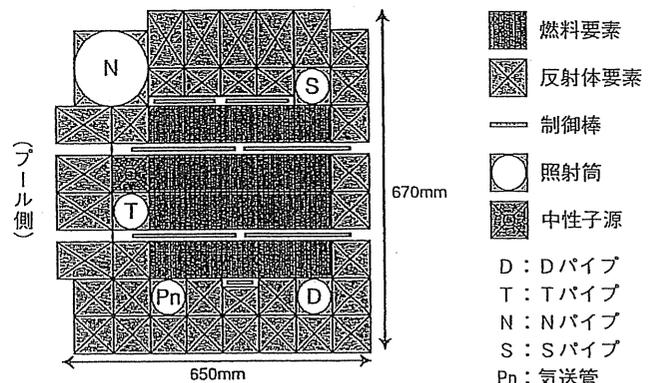
JRR-4 建家鳥瞰図



JRR-4の諸元

目的	医療照射 (BNCT)、放射化分析、半導体用シリコン製造、原子炉技術者養成等
型式	濃縮ウラン軽水減速冷却スイミングプール型
最大熱出力	3500 (kW)
最大熱中性子束	$7 \times 10^{17} \text{ m}^{-2} \text{ s}^{-1}$

炉心配置



炉心部は、20本の燃料と7本の制御棒からなり、その周囲は、反射体及び中性子を利用するための照射筒で囲まれています。